

「なぜ火災で人は亡くなるのか - 火災時のガス毒性に関する諸要因について - 」  
の講演討論会

社団法人 日本火災学会  
学術委員会

近年、火災総数は横ばいか減少しているものの、放火自殺等を除いても依然として1,300名ほどの方が亡くなっている。従来から、住宅火災において死者が発生する割合が高く、特に高齢者の占める割合が高くなっているのが特徴である。平成23年6月までに全国で住宅用火災警報器の設置が義務付けられたが、その効果は今後期待されることである。火災における主な死因が一酸化炭素中毒・窒息、火傷であることから、熱や煙に暴露されることへの有効な対策ができていないことがわかる。これらの対策を考える上では、加害側の火災時の可燃物の燃焼ガスの生成のほかに被害側の人体の反応を理解した上で、火災時の煙性状や燃焼ガスの毒性について、さらに検討を進める必要がある。

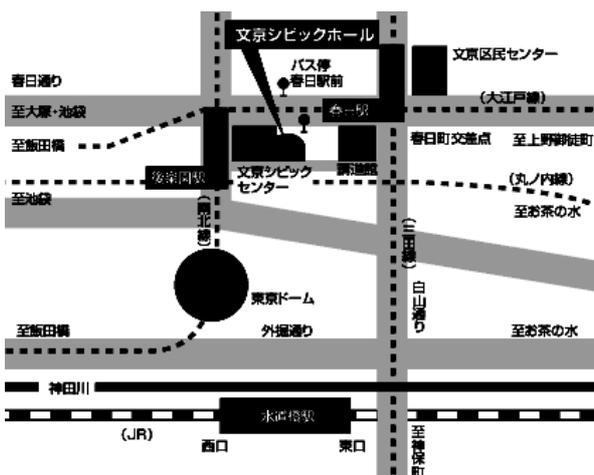
本講演討論会では、死者の発生した最近の火災の特徴や、火災で人が亡くなるということについて、被害を受ける人体の反応に関する知見、火災時の燃焼ガスの発生側の情報や消防活動上の問題点を報告し、火災による死者低減につなげるための討論を行う。

- 記 -

主 題:「なぜ火災で人は亡くなるのか - 火災時のガス  
毒性に関する諸要因について - 」

開催日:平成24年1月25日(水)  
13:00~16:30

会 場:文京シビックセンター(小ホール)  
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21  
・東京メトロ丸ノ内線・南北線:  
後楽園駅徒歩1分  
・都営三田線・大江戸線:  
春日駅徒歩1分  
・JR 総武線・中央線:水道橋駅徒歩8分



参加費:無料(ただし、テキスト代1,000円)

申込:当日受付

【プログラム】

開催挨拶 13:00~13:05 学術副委員長 村岡 宏

講 演 13:05~15:40 司会 成瀬 友宏

13:05~13:20

「統計から見る火災による死者の実態」

伊東 浩一(東京消防庁)

13:20~13:50

「被害側の要因 - 呼吸器系の観点から - 」

相良 博典(獨協医科大学越谷病院)

13:50~14:20

「被害側の要因 - 救急医療の観点から - 」

池上 敬一(獨協医科大学越谷病院)

(休憩 14:20~14:30)

14:30~15:00

「被害側の要因 - 法医学の観点から - 」

徳留 省悟(獨協医科大学法医学教室)

15:00~15:20

「火災時の燃焼ガス発生等の加害側要因」

仲谷 一郎((財)建材試験センター)

15:20~15:40

「消防活動における環境について」

若月 薫(消防研究センター)

(休憩 15:40~15:50)

討 論 15:50~16:25 司会 高橋 太

記録 小野 美沙登

閉会挨拶 16:25~16:30

火災ガス毒性調査専門委員会

主査 成瀬 友宏

詳細は変更する可能性があります。最新の情報はホームページで適宜ご確認ください。